

科 目	現代の国語	学年・類型	1 年・商業科	単位数	2
教科書	新編 現代の国語（東京書籍）				
副教材等	トリプルアプローチ 字義で覚える常用漢字（浜島書店）				
学 習 目 標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けられるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学 習 心 得	1 読解の基本となる漢字の力や語彙力を身に付けるべく、辞書を活用する。 2 予習・復習を徹底し、授業に集中できるようにする。 3 言葉を使って自分の考えを表現しようとする。				
	単 元		主 な 学 習 活 動		
一 学 期	1 自己を見つめる 『こそめスープ』 2 他者に出会う 『水の東西』 3 視野を広げる 『スキマが育む都市の緑と生命のつながり』		・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 ・文化の違いについて、様々な視点から考える。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 ・文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。		
二 学 期	4 視野を広げる 『無彩の色』 5 社会と関わる 『鍋洗いの日々』 6 社会と関わる 『動きを引き出す言葉の力』		・語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方を理解する。 ・情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。 ・登場人物の関係を読み取り、展開や人物の関係性の変化を捉える。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やす。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解する。		
三 学 期	7 世界とつながる 『りんごのほっぺ』 8 世界とつながる 『人生という旅の豊かな人間関係』		・登場人物の関係と心情の変化を展開に即して整理する。 ・論理の展開や表現の方法の幅を広げる。 ・筆者の考えを的確に読み取り、今までの学習を生かして自らの体験や考えと比較する。		

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	実社会に必要な国語の基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト
思考・判断・表現	文章の読解を通して、論理的に考える力や深く共感したりする力を高めている。	・定期考査 ・学習プリント等の記述
主体的に学習に取り組む態度	主体的に文章を読み解き、他者や社会に関わろうとしている。	・授業態度 ・授業ノートの記述